

事務事業名 資料収集保管事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：695

施 策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-04-571
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	①歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数 ②歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民や市外住民 教育・研究機関 団体・グループ		市民の財産である郷土の文化財を収集し、恒久的な保存を図ります。 収蔵された資料の活用を図るため、整理作業（目録の作成や台帳の整備）を行います。 市民の学習や社会活動に必要な歴史・文化資料を収集し、資料を活用できる状態に整理・整備を行います。 貴重なもの、状態が悪いものは、修復やレプリカを製作し保存・活用を図ります。 文化財 I P M（総合的有害生物管理）に基づく日常管理を行い、資料を適切に保管します。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
資料を収集し、適切に保存・管理を行い、貴重な文化財を後世に伝えていきます。また、整理及び修復を行い活用できる状態にします。								
4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
収蔵点数	点	246,389	250,295	253,000	255,000			
活用点数	点	1,115	1,344	1,000	1,000			
5. コスト								
事業費	計	千円	772	1,022	1,577	1,081		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	772	1,022	1,577	1,081		
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.2			
正職員人件費		千円	2,318	2,345	1,605			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,090	3,367	3,182	1,081		
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
●あがっている	大賀禮太郎家文書の整理については令和5年度は約5107点の目録を作成しました。(R01:3000点、R02:4200点、R03:4770点、R04:3825点)その成果は秋季企画展で広く市民に公開しています。(R02年度～)収蔵資料については、保存すべき資料と貸出資料として学習支援に活用するものを区分し、寄贈時など適時精査を行っています。またパッケージ資料を製作し貸出資料の充実を図っています。総合的有害生物管理（I P M）に基づき、モニタリング結果を検証し、日常清掃に反映させ博物館の適正な環境管理を行い、虫の食害から収蔵文化財を守っています。収蔵資料については計画的に整理し適正な保管を進めています。郷土資料の収集については、収蔵スペースに限りがあるため、文化財としての価値を慎重に判断しながら進めています。							
○どちらかといえばあがっている								
○あがっていない（停滞・低下）								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	郷土の歴史・文化を継承する上で必要不可欠な資料を収集し、考古、民俗、歴史、美術、地図・絵図、映像、音響、自然、図書、学芸参考の10分類を行い、博物館資料検索システムにより管理しています。最大の課題は、資料を適正に整理・管理できる、経験があり資料に精通した博物館学芸員が不在であることです。今後、資料の受入れや整理、適正な管理に支障がでる恐れがあります。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性				●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
古文書に特化した展示会を開催している近隣の市町はなく、古文書は本市の目玉となる資料の一つです。業務に精通した博物館学芸員を設置することで、今後も継続して整理を行い成果を公開することができます。				館内の温湿度管理については、既存のシステムが数年前から故障しており、現在、職員が巡回し記録しています。常設展示室内の特に細かな温湿度管理が必要なものについては、部分的に観測機器を設置し温湿度管理をしています。適正な展示・保存環境の維持のため温湿度管理システムの更新が必要です。				
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄				
地域の歴史・文化の学習、市民活動に供するため、資料を収集し、適切に保存・管理しています。 都市化により、文化遺産は失われつつある一方、市民の地域文化に対する意識は高まり、文化財・文化遺産等の資料や情報の提供要望が増えています。								